

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2022年8月1日

日蓮正宗 年間方針

報恩躍進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

常に明るく正直な生活

年間実践テーマ

①真剣な勤行・唱題で  
歓喜の行動

苦難を開く

勤行・唱題

②僧俗一致の折伏で広布  
へ躍進

諦めず

最後まで

③御報恩の登山と寺院参  
詣で人材育成湯仰恋慕・朝夕の勤行  
家庭訪問・寺院参詣・

支部総登山

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2022年7月10日 御報恩御講の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ「教学は大御本尊への信を育てること」

教学は単に法門を知ることではない。ご法門研鑽の目的は、御本仏大聖人の御境界をより深く拝察するためである。勤行の二座の御観念文にある「一念三千」という文言は法華経に説く法門であり、一切の衆生の成仏が絶対に可能であることを理論と事実の上に示したものである。大聖人は久遠元初の御本仏たるご自身の悟りとお姿を大御本尊に御図顕され、衆生成仏の絶対的エネルギーを顕された。一念三千とはつまり、御本仏が放照される大宇宙をも貫く無量の慧光(御本尊の力)を説き明かす法門なのである。大聖人は仰せになった。「一念三千の珠を妙法の五字につつま末代幼稚の頸にかけよう」(御書662)と。私たちはこの宝珠を信の一字によってのみ受け取ることができる。幼稚の身として御書を拝し、御本尊へ真剣な勤行と唱題に勤めよう。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その24)

平成5年、正信会が猥下に対し起こした裁判など、同会関連の訴訟が収束した。正信会による不法占拠寺院は、占拠者が死亡、その他の事由で欠けた時点で宗門に返還されることとなった。遡り、五十二年路線が収束後の創価学会は、日達上人の協調路線を踏襲された日頭上人によって擁護される形で推移した。それは池田創価学会の反省懺悔を信頼されたからに他ならなかった。日頭上人は、大石寺開創七百年を記念し二百ヶ寺の建立寄進を願い出た池田の反省の心を汲まれ、昭和59年1月2日、池田を再び法華講総講頭に任じられた。しかし総本山開創七百年の大法要を目前に控えた平成2年7月、突如として創価学会は宗門攻撃を開始した。常泉寺における宗門・学会との連絡会議の席上、冒頭よりそれは起こった。(次回 連絡会議の様子とその後)

## ③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(二枚舌は十悪の一つ)

「二枚舌を使う」とは一つのことを二様に言う、また嘘をつく意で使われる。これは仏教の「両舌」から生まれたもので、十悪(十不善業)の一つである。両舌は二人の者に違ったことを話し、二人の間を裂き、争いを起こさせる。二枚舌は結局、友の信頼を裏切り他人を不幸に陥れるのである。仏教にはその報いを「両舌は眷属離反し、弊悪の眷属を得る」と説く。つまり友人、知人から見放され、悪人ばかりの群れの中で究極の不幸を味わうのである。「嘘」から他人をも巻き込む「破和合僧団」の罪は甚だ大きい。両舌がいかに仏道修行の支障になるか。また結局自分も人から誹謗され騙される結果となる。仏教説話には、嘘をつくと閻魔大王に舌を抜かれるという。仏法の説く因果律の厳しさを知ることが幸福の原点であろう。